

## 第5章 人材育成、地域間交流、教養文化活動等に関する事項

### 1. 活動の活性化方針

新川地方拠点都市地域の一体的整備を進めるためには、拠点地区をはじめとする都市機能の増進及び居住環境の向上を図るための施設整備等のハード事業とともに、人材育成、地域間交流、教養文化活動等のソフト事業の充実が必要である。

本地域では、これまで、各市町それぞれにおいてソフト事業が実施されてきたが、今後は、「ふるさと市町村圏基金」の運用果実等を活かして、民間との連携に努めながら、より広域的な視点から、広域活動推進会議（仮称）を設けて、地域内の市町間の連携と協力の一層の強化を図り、地域が一体となった人材育成、地域間交流、教養文化活動、観光に係わるソフト事業を展開することとする。

### 2. 人材育成

人材育成については、地域が一体となって時代ニーズに即した人材の育成を行う必要がある。

このため、本地域内各地に潜在する伝統文化や歴史資源、人的資源を活かした地域づくりに資する人材の育成と確保に努める。また、福祉ボランティア・ホームヘルパー研修会を実施し、福祉人材の育成に努めるとともにCATV、地域FM局などによる外国文化理解のための啓発活動や構造改革特区事業を導入し、国際性豊かな人材育成に努める。

### 3. 地域間交流

地域間交流については、スポーツ、イベント、文化、レクリエーション等を通じ、これまで、国内では魚津市が岡山県井原市、黒部市が北海道根室市、入善町が宮城県登米市、朝日町が岩手県釜石市と姉妹都市・友好都市の提携を行っている。国外では、魚津市がタイ王国チェンマイ市、黒部市がオランダ国スネーク市、アメリカ合衆国メーコン市、入善町がアメリカ合衆国フォーレストグローブ市、中国哈密市と姉妹友好都市の提携を結んでいる。

今後は、本地域にふさわしい名水ウオークラリーや水をテーマとしたシンポジウムの開催等水文化のネットワークの形成に向けた事業を地域が一体となって進めるとともに、新川スポーツ大会の開催などによるスポーツ交流を図る。

また、国際交流については、本地域の国際交流の素地を活かし、技術研修生の受け入れなどを通じ、環日本海地域との交流の促進を図るとともに、新たに各国の若者が集う国際

ユース音楽祭を開催するなど、積極的に交流活動を推進する。

## 4. 教養文化活動

教養文化活動については、公民館、図書館、文化会館、美術館、博物館などの施設整備と併せ、各施設間のネットワーク化を推進する。このため、各施設の情報のデータベース化を図るとともに、新川芸術フェスティバル等地域が一体となるための芸術文化活動を推進する。

## 5. 観 光

観光は宿泊、飲食、交通、製造など幅広い経済波及効果が期待でき地域経済のリーディング産業と位置づけることができる。また、観光振興による交流人口増が地域活性化をもたらすことも期待される。観光振興を図るために、国際的広域観光の推進や地域内の観光地を総合的に紹介する観光パンフレットの作成、配布を行うとともに、地域内の広域的滞在型観光や産業観光の開発を積極的に進め、観光ルート形成を図りながら、県内はもとより長野県、新潟県などの観光地との連携に努め、高速交通体系を活かした県域を越えた観光ルートの形成を推進する。

また、地域内の蜃気楼、名水、埋没林、温泉、峡谷、扇状地などの豊かな自然資源を活かした観光開発を勧め、地域内観光情報の発信に努める。さらに、これとの連携を図りながら、主要駅等にケーブルテレビ放送受信モニター等を設置し、観光客等に対して、各種観光情報等の提供を行うことによって、地域の観光振興に努める。